令和４年度

事　業　報　告　説　明　書

公益財団法人 大阪認知症研究会

事業報告説明書

自　令和４年４月 １日
至　令和５年３月 31 日

１．助成事業

○事業内容・趣旨：

◇医学研究助成･･･団体及び個人が実施している研究に対して積極的に助成することにより、研究の着実な成果を見いだし、認知症の問題・課題の解決を図る。

◇海外派遣助成･･･海外の認知症研究者との研究交流をはかることによって、当該分野における研究レベルの向上を企図する。

○応募期間：

令和４年４月３日～同年５月 15 日（消印有効）

○応募資格：

認知症の研究にあたっている大阪府域の大学、研究所、医療機関、保健施設等に属している者。但し、弊財団で前年度に助成を受けられた方は応募不可。

○助成対象研究：

(a) 認知症疾患の臨床的研究
(b) 認知症疾患の発症危険因子に関する研究
(c) 認知症疾患の病因に関する研究
(d) 認知症疾患の病態に関する研究
(e) 認知症疾患の方の介護、看護技術に関する研究
(f) 認知症疾患の方の地域ケア、処遇に関する研究
(g) 新型コロナ感染症対策として、認知症患者やその医療従事者に有効な方法や処置に関する研究（メンタルヘルス、リハビリなど幅広に及ぶ）

○助成金予算：

◇医学研究助成･･･500 万円 ＋300 万円（コロナ特別枠として(g)の対象範囲）

◇海外派遣助成･･･40 万円（2 件）

○助成金予算：

◇医学研究助成･･･500 万円（1 件につき 200 万円を限度）

◇海外派遣助成･･･40 万円（2 件）

○応募・選考件数（金額）：※詳細は別紙に記載

令和４年６月９日、選考委員による選考の結果、助成対象６件を決定、同日理事会で承認。

	医学研究	海外派遣	合　　計
予　　算	800 万円	40 万円	840 万円

応募件数	9 件	2 件	11 件
選考件数（金額）	6 件（820 万円）	1 件（20 万円）	7 件（840 万円）

〇助成金贈呈：

贈呈式はコロナ感染拡大防止のため中止、郵送にて表彰状を授与

２．普及啓発事業

（１）認知症講演会開催

コロナ感染防止対策のため中止

以上

事業報告書の附属明細書

別紙１．令和４年度助成金の贈呈者・金額・研究内容の詳細を別紙添付。

＜医学研究助成の部＞

所属機関 ／ 教室 ／ 学部 ／ 職名 申請者氏名 ／ ﾌﾘｶﾞﾅ		研究課題	助成金額（万円）
近畿大学病院 歯科口腔外科	教授	歯科パノラマレントゲン画像と人工知能を活用した認知症徘徊老人の個人特定システムの開発	100
榎本　明史	エノモト アキフミ		
大阪大学大学院 医学系研究科	臨床遺伝子治療学 寄附講座准教授	タウ病理の脳内進展過程と翻訳後修飾を標的とした認知症の層別化・個別化治療に向けた臨床研究	200
武田　朱公	タケダ シュコウ		
大阪公立大学大学院 医学研究科	特任講師	C9orf72 にリンクした前頭側頭型認知症に対するリファンピシン-レスベラトロール合剤点鼻薬の効果と作用機序の解明	120
梅田　知宙	ウメダ トモヒロ		
大阪府立病院機構 大阪精神医療センター	こころの科学ﾘｻｰﾁｾﾝﾀｰ 特別研究員	脳波データに深層学習アルゴリズムを適用した認知症疾患の AI 識別技術の検証と AI 識別技術のウェラブル型パッチ式脳波計への応用～汎用可能な生物学的指標の開発を目指して～	100
大山　茜	オオヤマ アカネ		
大阪大学大学院 医学系研究科	精神医学教室 助教	脳波データに深層学習アルゴリズムを適用した認知症疾患の AI 識別技術の検証と AI 識別技術のウェラブル型パッチ式脳波計への応用～汎用可能な生物学的指標の開発を目指して～	150
畑　真弘	ハタ　マ サヒロ		
大阪大学大学院 医学系研究科	精神医学 招へい教授	タウオパチーにおける形態特異的タウ重合分子モデルの開発	150
田中　稔久	タナカ トシヒサ		
			820

＜海外派遣助成の部＞

所属機関 ／ 教室 ／ 学部 ／ 職名 申請者氏名 ／ ﾌﾘｶﾞﾅ		研究課題	助成金額（万円）
大阪大学大学院医学系研究科	精神医学 医員	International Lewy Body Dementia Conference 2022（イギリス）	20
佐竹　祐人	サタケ ユウト		
			20